

【KURADASHI.jp会員の皆様へ】

ピースボート災害ボランティアセンター (PBV) は、被災地での災害支援活動や災害に強い社会作りに取り組む非営利団体です。

災害はいつどこで発生するかわかりません。2017年には、九州北部豪雨、台風18号・21号と3つの災害が激甚災害に指定され、各地で水害による被害が発生しました。

PBVでは、自然災害が発生した際、現地に速やかに職員を派遣し、被災地での災害支援活動が円滑に行われるよう現地の災害ボランティアセンターのサポートや現場の作業コーディネーターの派遣、ボランティアの派遣、生活再建支援などを行っています。

いつもご支援いただき心より感謝申し上げます。皆様のご支援は被災された方々が一日も早く安心して生活できるように活用させていただきます。

今後ともご支援を宜しくお願い致します。

活動レポート

九州北部豪雨(福岡県朝倉市)

九州北部豪雨により被災した福岡県朝倉市は県内有数の農業地域で、柿や梨といった果物や青ねぎなどの野菜の生産が盛んなところですが、

被災された農家への支援が不足する中、地元の農協である筑前あさくらと朝倉市が主体となり、「JA筑前あさくら農業ボランティアセンター」が立ち上がりました。

PBVは、同センターへ支援として、土砂や瓦礫が流入した農地でのボランティアによる清掃活動がスムーズに行なえるよう、センターの運営サポートを行っています。

※支援活動は現在も継続して行なっています。



台風21号被害(三重県玉城町)

10月下旬に発生した台風21号により、人知れず甚大な浸水被害に遭った三重県玉城町(床上浸水287棟、床下浸水229棟)で支援活動を実施しました。

被害を受けたお宅を訪問し、目に見えない床下や壁面などの被害状況を確認。災害に見舞われ、戸惑うことの多い住民の方の相談にのり、必要な対処方法や相談先の案内などを行ないました。



- 実施期間 2017年11月9日～12月4日
- 活動内容 床下確認ニーズ対応、清掃活動、災害ボランティアセンター運営サポート、支援のマッチング調整等
- 床下確認依頼対応件数 111件(協力団体による活動件数も含む)
- 訪問声かけ調査 94世帯